

- G20 観光大臣会合をはじめとした国際会議において、持続可能な観光が大きなテーマとなるなど、持続可能な観光に対する国際的な関心が高まっている。
- 北海道内では、ニセコ地域や阿寒地域において持続可能な観光への関心が高まっているが、具体的な取組方法がわからず、対応に苦慮していることから、グローバルサステナブルツーリズム協議会 (GSTC) のトレーニングプログラムを実施し、地域の機運を高めた上で、実証的な取組を行う。

### 背景

- 観光地が長きにわたって当該旅行者を受け入れていくためには、経済、社会、文化、環境等の様々な観点から十分配慮された観光 (持続可能な観光) となっているかが重要。
- 持続可能な観光は、国際的にも関心の高いテーマとなっている。  
※例えば、2018年イタリアで開催された ATWS においても、ほとんどの参加者がマイボトルを持参したりするなど、環境への配慮が徹底されていた。  
※2019年10月に倶知安町で開催される G20観光大臣会合においても持続可能な観光がテーマとなる予定。
- 北海道内においてニセコ町や釧路市阿寒町で持続可能な観光への関心が高まっているが、具体的な取組方法がわからず、対応に苦慮している。

### 事業概要

- ◆ **GSTC トレーニングプログラムの実施** (2019.6~9) @ニセコ、阿寒
  - ・ GSTC の観光地向けの持続可能な観光水準に照らして、ニセコ町及び釧路市阿寒町における現在の水準がどの程度であるかを分析
  - ・ ニセコ町及び釧路市阿寒町において認証を受けるために必要な事項を整理し、認証に向けた数カ年のアクションプラン案を作成し、提案

※ GSTC (Global Sustainable Tourism Council)  
⇒ UNWTO を含む約 30 の国際機関等から構成される組織。持続可能な観光に関する基準作りを行うとともに、これらに基づく国際認証を行う機関の認証を行っている。なお、日本において、GSTC の基準に基づく認証を得た観光地はない。



- ◆ **ペットボトルゴミ削減に向けた実証事業** (2019.10~2020.1) @阿寒
  - ・ 阿寒町の水道水の質の高さをブランド化し、阿寒町の水道水は直接飲むことができることを旅行者に周知
  - ・ 旅行者が極力、ペットボトルを買わずに、阿寒町の水道水を飲むような仕組み (マイボトルの販売促進、水汲み場の設置等) を構築
  - ・ 宿泊施設内における一日の廃棄物の量を測定するなどして、本実証事業の効果を測定
- ◆ **セミナーの開催** (2020.2) @札幌等
  - ・ 上記で得た知見を北海道全体に普及することを目的としたセミナーを開催